

薬局機能強化部会の開催状況について

1 令和4年度薬局機能強化部会

(1) 日 時 令和4年12月15日(木)から同月28日(水)まで

(2) 方 法 書面開催

(3) 部会委員

所 属	氏 名	備 考
秋田県医師会	伊藤 伸一	委員
秋田県医師会	五十嵐 知規	委員
秋田県薬剤師会	安田 哲弘	委員(部会長)
秋田県病院薬剤師会	三浦 昌朋	委員
秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会	畑江 澄子	専門委員
秋田市保健所	庄司 学	専門委員

(4) 内 容

ア 認定状況

●地域連携薬局(令和4年11月30日現在)

No.	管轄保健所	認定年月日	所在地市町村	薬局名
1	由利本荘	2021/8/4	由利本荘市	日本調剤 本荘薬局
2	湯沢	2021/9/14	雄勝郡羽後町	クオール薬局うごまち店
3	由利本荘	2021/11/18	由利本荘市	日本調剤 本荘南薬局
4	秋田中央	2022/1/21	南秋田郡八郎潟町	日本調剤 湖東薬局
5	大館	2022/3/28	大館市	わかば薬局
6	大館	2022/5/11	大館市	日本調剤 大館薬局
7	秋田中央	2022/8/17	秋田市	アイン薬局 中通店
8	湯沢	2022/9/6	雄勝郡羽後町	日本調剤 羽後薬局
9	大館	2022/9/14	大館市	アイン薬局 大館末広町店
10	能代	2022/9/27	能代市	赤玉薬局 川反町店
11	能代	2022/11/1	山本郡三種町	赤玉薬局 八竜店
12	大館	2022/11/25	鹿角市	日本調剤 鹿角薬局

●専門医療機関連携薬局

認定なし

・専門医療機関連携薬局の条件のひとつである、がん専門薬剤師の配置に向けて、大学病院等にて研修している薬局の薬剤師が年に5、6名いるので、これから専門医療機関連携薬局ができてくる見込み。

イ 協議事項

● 国は地域連携薬局については中学校区に1つ以上、専門医療機関連携薬局については二次医療圏毎に1つ以上という目標数を想定しているが、当県にてどのように認定薬局を広めていくべきか。

・専門性の認定を受けるために必要な研修を受け入れる医療機関が大学、赤十字、由利総合、大館の4施設しかないので、能代や大曲地区でも受入施設を増やす必要がある。二次医療圏に薬局を受け入れる施設が必要である。

資料 4

- ・地域包括ケアシステム構築の視点から、地域連携薬局や専門医療機関連携薬局の役割や機能等、地域住民に対しても、メリット等をわかりやすくお知らせしていくような、認知度を上げていくことも必要である。
- ・ただ単に要件を満たすような薬局を増やすのではなく、認定要件にある情報提供件数等については、中身についてもしっかりと精査し、認定基準を再検討する必要がある。